

## 令和3年度すずろ蓮笑亭 放課後等デイサービス自己評価表(1)

チェック項目		はい	どちらともいえない	改善目標等	
①	利用スペースが適切であるか	4	3	学習スペースと遊ぶ場所が一緒なので配慮が必要か。学習コーナーが欲しい。室内は整理整頓が行われ有効に使用できている。倉庫の確保。	
②	職員の配置は適切か	6	1	中庭での対応人数が多い時は一人での支援が大変な時がある。	
③	設備等バリアフリー化の配慮は適切か	5	2	トイレの照明や、階段等電気の光が届かずに暗い環境下に安全性が必要	
④	PDCAサイクルを理解し業務を改善するための振り返り等ができていますか	7			
⑤	保護者に向けてアンケートを実施する等、保護者の意見等を把握し業務改善につなげているか	7		年に一度、保護者にアンケートを実施している。 学年末で変化のある家庭には事前に話をする機会をもつ。	
⑥	自己評価の結果をホームページ等で公開しているものを確認しているか	4	3	確認の徹底します。	
⑦	研修の機会を得て業務改善につなげているか	5	2	定期的に研修を実施している。コロナ禍で全員が揃うのが厳しい時は共通の支援講座を見て感想や意見を提出する等、工夫して行う。	
⑧	子ども、保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援しているか	6	1	保護者自身が多忙なことも多い様子があるので、学校の宿題や学習他やるべきことを尋ねる機会を増やす。常に児童とその家族が安定した暮らしができるように様々な方向から分析をしている。	
⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	児童の問題行動等があれば話し合いを行う。早めに季節の行事を考えて取り組む事ができればチームでの活動がスムーズになる。	
⑩	プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		現在のプログラムに満足せずに児童の意欲が高まるように工夫をする。	
⑪	平日、休日、長期休暇に課題を決め設定して工夫しているか	5	2	多学年にわたる児童の共通のイベント以外は個人の特性を考え課題を決める必要	
⑫	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援をしているか	7			
⑬	開始時に打ち合わせし内容、役割分担について確認している	2	5	スタッフが同時に集まるタイミングが難しいので、連絡ノートを使い共通意識を持ち支援ができるように努める。	
⑭	支援終了後は打ち合わせを行い気付いた点等共有している	7			
⑮	日々の支援の記録をして支援の検証改善につなげている	7		連絡帳だけでなく、個人記録表や目標達成シートを活用している。	
⑯	定期的モニタリングを行い計画見直しの必要性の判断をする	6	1	6ヶ月ごとのモニタリング実施(目標達成シートは全スタッフ作成)	
⑰	ガイドライン総則の基本を踏まえて支援を行っているか	2	5	ガイドラインの再度読み込み必要	
⑱	学校との情報共有は適切に行われているか	3	4	学校とは引き渡しの時に聞く様。問題があったときには共有する機会が多い。 スタッフにより共有の違いが有	
⑲	医療的ケアが必要な場合、保護者と体制を整えているか	5	2	保護者の緊急連絡先を確認し対応している。	
⑳	就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業者等との情報共有相互理解に努めているか	3	4	就学前の情報は基本的に保護者から提供されたものを参考にしている。相互理解の環境が整っていない。今後必要と思われる状況では課題にする。	
㉑	学校を卒業し放デイから他事業所へ移行の際の情報提供は必要か	3	4	他事業所において必要と希望を受けた時のみ提供している。	
㉒	放課後児童クラブや児童館との交流は必要か	1	4	2	都合上難しい。コロナ禍ではより難しさがある。
㉓	子どもの状況を保護者と伝え合い共通理解を持っている	7		連絡帳、個別支援計画を作成時に行われる。	
㉔	保護者に対し対応力の向上を図る視点からペア・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	活動の中で声かけの工夫や褒めるタイミングを日々の支援に生かしている。 ペア・トレーニングが行われる環境を保ち支援をしている。	